

< あなたの治療について >



婦人科-NGT-卵巣-q3w

今回の治療は、NGT という治療法で、ハイカムチン (NGT) という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1、2、3、4、5日目に点滴を行います。この治療を3週間(21日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1~5日目	6~21日目
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み
	ハイカムチン (抗がん剤) 1.5mg/m ²	点滴 約30分		

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について (頻度 20%以上)

ハイカムチンについて

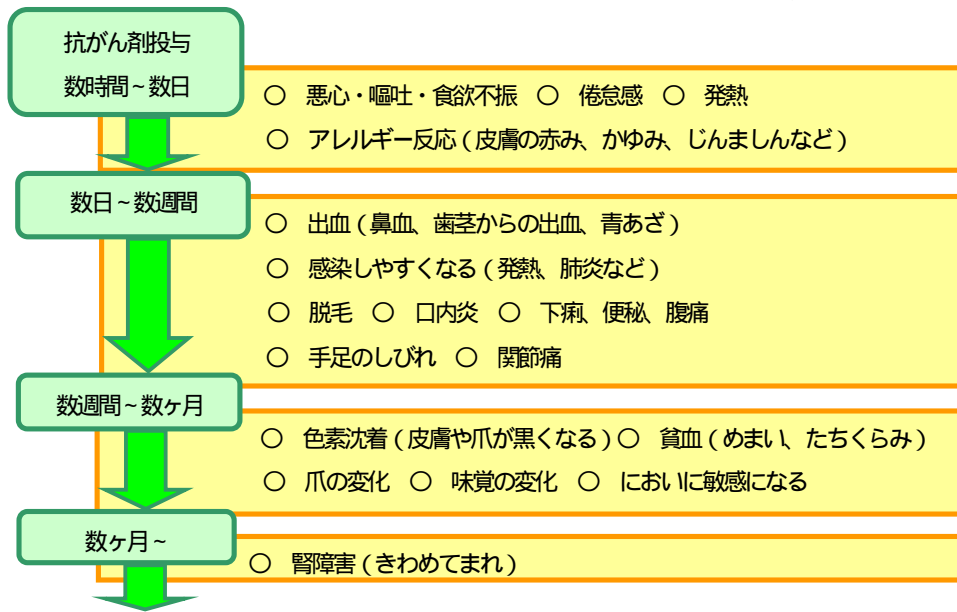
白血球数減少・好中球数減少・赤血球数減少・ヘモグロビン減少・血小板数減少
悪心・嘔吐、食欲不振 脱毛 発熱・易疲労感

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ハイカムチン】

＜骨髄抑制＞いつもより強く体がだるく感じる。38度以上の熱がある。

＜間質性肺炎＞咳き込んだり、息苦しい。

＜過敏症＞発疹、痒み、蕁麻疹など。

＜消化管出血＞吐血、下血など。

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。